

町立  
指江図書館

TEL0996-88-6500

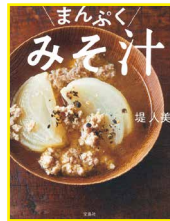


「材料3つですいすいスイーツ」  
著 宮沢 うつら

材料はたった3つ！お店屋さんで売っている話題のスイーツをすいすい一つと作りましょう。

町立  
鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



「まんぷくみそ汁」  
著 堤 人美

定番ものから意外な食材の組み合わせまで、まるごと「みそ汁」の本です。具たくさんみそ汁で、まんぷくになりましょう。

町立図書館おすすめ

図書館においてある本の中からおすすめのものを選びました。バラエティに富んだ本を紹介いたします。

Pick Up New publication

長島文芸

Nagashima Bungai ながしまぶんげい

長島短歌会

裏山の朝の風車に陽の差せば光りと影の大羽根まわる  
櫻平 頼子  
腰を病む夫を気遣ふ競り市に無口な息子が来て仔牛引きたり  
米尾 和子  
今宵また友の通夜なり帰り道下弦の月は山の端にあり  
坂之下典子  
秋空の青に浮かびて鱗雲南から北へ動きあふるらし  
中山タマエ  
押し車に頼りて歩む黄昏の茜の光り足元照らす  
浜田美代子  
夕日差残るむかうに消えゆきし曾孫三人の残り香に立つ  
浜畑 松枝  
わが畑の倉庫の窓に光りゆれ季節はづれの南瓜花咲く  
松元 睦子  
つつましく米寿を迎えしこの夜更け白髪染むるを止めんと決むる  
岩下 ち江

明神俳句会

水音に昏るる観音冬紅葉  
野兎や星を見下ろす開拓碑  
虫時雨クルスの島の町明り  
読みかけに紅葉の葉閉校す  
校庭の日向ぼこから笑い声  
虫しぐれさそり一匹去りし天  
焼秋刀魚余生何年老いてゆく  
桐一葉風の吐息と思ひけり  
焼芋を二つに割って一人食う  
城下街白壁映ゆる冬紅葉  
かたまって芋ほりに行く園児かな  
淵脇 護  
白男川孝仁  
関 佳代美  
大堂 早苗  
脇田 武志  
二階堂妙子  
二階堂恵子  
山喜加代子  
大堂 正弘  
坂口 静子  
迫口 君代

創世短歌会

総身を揺すりて諸葉落す木に敗北感の総量が見ゆ  
竹之内重信  
拾わんと伸ばせる指をカナブンが思わぬ力もちて  
掴みぬ  
宮元 司  
血糖値上昇するは女房のわたしに罪あるような物  
言い  
石原百合子  
雨晴れて虹たつ島のやわらかさ孫は大きな虹を喜ぶ  
大塚 洋子  
手の届くところに秋の蠅がいる俺のはなしを聴く  
ふりをして  
村上 義彦  
目に見えて確か降りいる雨なれど乾ける土は音も  
吸いゆく  
野村 益信  
父の田の固定資産税ただ一人生き残りいる我に宛  
てて来つ  
山下 学

一般作品

〔短歌〕  
その昔遣唐使船難破せり唐隈沖は何も語らず  
小林 貢  
七十の古稀の祝いの同窓会次は喜寿ぞと約して追  
えり  
小林 如月  
天然の美の島々は鶴の舞う優しさあふるるを語りつ  
ぎゆく  
中飯屋辰子  
居酒屋で隣り合わせになりし人くしゃみのあとに  
大魔王という  
母木 良平  
人生は年取るなれば駄目成るや良い事なきや哀れ  
成るかな  
町田 末則  
〔俳句〕  
想い出に母の為にと取りしウベ  
宗方 清明